

介護保険制度は、20年で、老後の生活を支える基盤として定着した。一方で、今後、急速に高齢者が増えていく都市部を中心に、人材確保や財源負担のあり方など課題は山積している。102自治体が回答した読売新聞の主要自治体アンケート調査でも、多くの首長が制度の持続可能性に危機感を抱いている。(社会保障部 阿部明憲、田中ひろみ、本文記事一面)

■あいつでいい

「あいつもしない職員がいるんだけど、大丈夫なの？」「あの職員、来なくなっちゃったね」。首都圏にある特別養護老人ホームで働く50歳代の男性職員は、入所者からそう尋ねられるたび、返答に詰まる。求人広告を出しても応募はなく、本来なら採用しない人でも、人のやり繰りに窮した施設は受け入れざるを得ないのが実情だ。男性が勤める特養も、派遣スタッフが数日で来なくなるケースが多く、職員の入れ替わりは激しい。「無資格、未経験だからまだしも、やる気もなく、目を合わせて話すこともできない人が来る時もある」と嘆く。

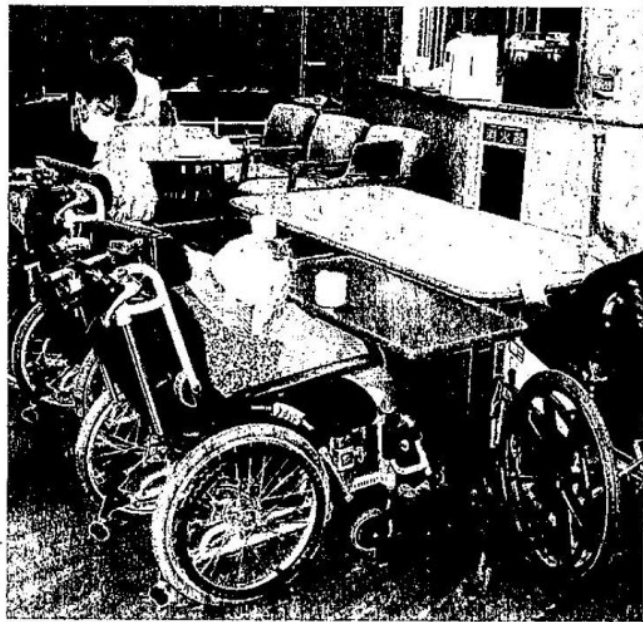
「あいつでいい」6年で介護人材の不足が目立つようになり、首長アンケートでも、制度維持が困難とした自治体の74%は、人材や事業者の不足を理由に挙げている。東京都豊島区では、認知

■事業者も不足

症グループホームなどの事業者を公募しても、2017、18年度の応募はゼロ。東京五輪需要で建設費などが高騰していることに加え、人材確保の難しさも影響しているという。同区福祉総務課は「事業者から人の確保に費用がかかる」と聞いた。応募しにくい状況は今後も続くだろう」と

介護の質 保てぬ危機

求人応募なし ■負担増 離職招く



多くの施設では、人材確保に悩む(東京都豊島区)

多くの施設では、人材確保に悩む(東京都豊島区)

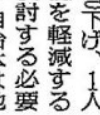
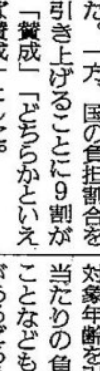
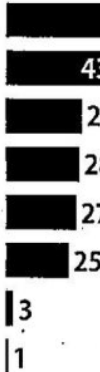
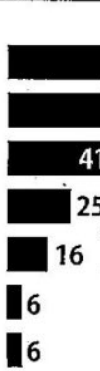
人材不足は現場で働く職員を公募しても、2017、18年度の応募はゼロ。東京五輪需要で建設費などが高騰していることに加え、人材確保の難しさも影響しているという。同区福祉総務課は「事業者から人の確保に費用がかかる」と聞いた。応募しにくい状況は今後も続くだろう」と

外国人材「推進」は半数

外国人材「推進」は半数

外国人材「推進」は半数

外国人材「推進」は半数



外国人材「推進」は半数

外国人材「推進」は半数

外国人材「推進」は半数

外国人材「推進」は半数



保険料20年で倍増

財源確保の難しさも、介護保険制度の持続可能性に黄信号を灯す。利用者が増え、介護サービスの給付が増えれば、保険料や公費負担の増加につながるためだ。40〜64歳の保険料は、医療保険者が料率を定め、収入額などによって異なる。

「住民限界」の声

65歳以上は、市区町村が3年ごとに基準額を定める。2018〜20年の全国平均は月額5869円、制度開始時と比べると倍増。また、介護が必要な人の割合などで自治体ごとにばらつきがあり、3000〜9800円と幅がある。

東京都豊島区では、認知症グループホームなどの事業者を公募しても、2017、18年度の応募はゼロ。東京五輪需要で建設費などが高騰していることに加え、人材確保の難しさも影響しているという。同区福祉総務課は「事業者から人の確保に費用がかかる」と聞いた。応募しにくい状況は今後も続くだろう」と

地方都市では慎重姿勢が目立ち、高知市介護保険課は「市内で外国人を登用しようとする事業者はごく一部。人材確保の柱にはできない」と説明する。

推進する自治体に課題(複数回答)を尋ねたところ、「日本語教育や技術指導などの充実」(38%)、「受け入れのノウハウの不足」(36%)が並んだ。東京都八王子市は「ただ外国人を入ければ良いわけではない。ICTやロボットの活用なども必要だ」としている。

一方、都内のある区は「どちらかといえば反対」の立場だ。「国の負担増で乗り切ろうとすれば、地域の特色に応じて、自治体が試行錯誤する動きが鈍ってしまふ」と危惧する。

介護保険制度に詳しい国際医療福祉大学の中村秀一教授は「保険料を納める対象年齢を引き下げ、1人当たりの負担を軽減することなども検討する必要がある」と指摘する。

自治体は地域の実情に合わせたサービスのあり方を考え、国は低所得者対策などに力を注ぐ必要がある」と指摘する。(社会保障部 小沼聖実)

「現状を憂慮する。人材確保策(複数回答)で最も多かったのが「介護」

「現状を憂慮する。人材確保策(複数回答)で最も多かったのが「介護」

「現状を憂慮する。人材確保策(複数回答)で最も多かったのが「介護」

「現状を憂慮する。人材確保策(複数回答)で最も多かったのが「介護」

「現状を憂慮する。人材確保策(複数回答)で最も多かったのが「介護」

「現状を憂慮する。人材確保策(複数回答)で最も多かったのが「介護」

「現状を憂慮する。人材確保策(複数回答)で最も多かったのが「介護」

「現状を憂慮する。人材確保策(複数回答)で最も多かったのが「介護」

「現状を憂慮する。人材確保策(複数回答)で最も多かったのが「介護」